

どれくらい効果があるの？

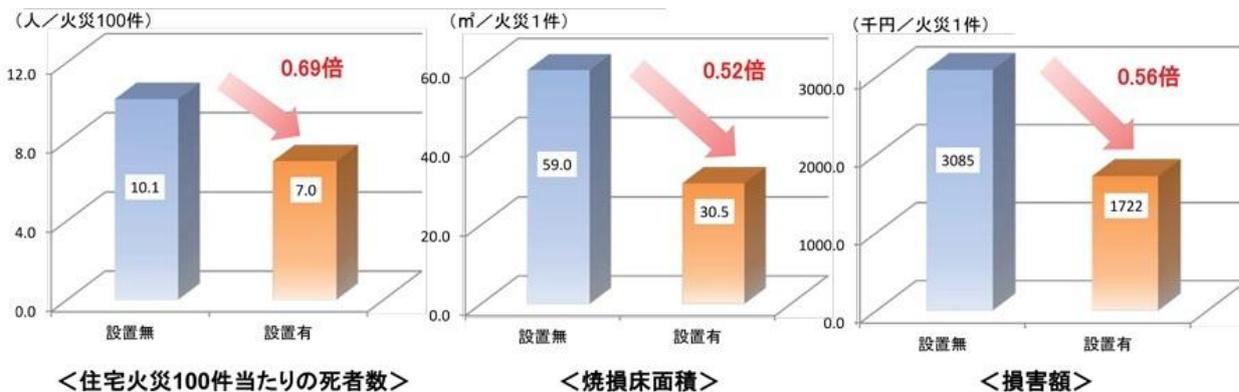
住宅用火災警報器が設置されていた火災と設置されていなかった火災を、住宅火災100件当たりの死者数で比較すると、住宅用火災警報器が設置されることにより、およそ**3分の2**の死者数となっています。

また、焼損面積、損害額は概ね半減しています。

H25年からH27年までの3年間における失火を原因とした住宅火災について、火災報告を基に、住宅用火災警報器の設置効果を分析

消防庁調査

総務省消防庁HPより引用



注1)「死者」とは、火災現場において火災に直接起因して死亡した者であり、火災により負傷した後48時間以内に死亡した者を含む。
注2)死者の発生した経過が、「殺人・自殺」(放火自殺者、放火自殺者の巻添者、放火殺人の犠牲者)であるものを除く。